



令和7年12月15日(月)

学校教育目標 **なかよく がまん強く たのしく**

第21号 文責：校長 真崎 哲也

諫早市立長田小学校
859-0312
諫早市西里町800番地

電話

23-9010(職員室)
24-8267(校長室)
23-9059(FAX)

電子メール

e-nagata@isahaya-
snet.ed.jp

Web サイト

<https://www.isahaya-snet.ed.jp/school/e-nagata/>



ホームページには、毎日の
子どもの様子や学校からのお
知らせ、各種便り等を掲載し
ています。ぜひ活用ください。

〈12月の生活目標〉

学校や教室をきれいにしよう。
～身の回りの整理整頓をしよう。～

ミニ美術館



～ナップザックづくり・6年生～

自分のお気に入りのデザ
インを選び、ミシンなどを
使って、根気よく縫い上げ
ました！



1組 川田 聖莉那さん
金原 悠真さん



2組 久保 富士さん
大木 愛虹さん

力試し！～標準学力テスト～

2学期も残すところ、あと10日足らずとなりました。インフルエンザの罹患状況もようやく落ち着き、欠席していた子ども達が元気に戻ってきました。学校は子ども達の元気な姿あってこそ活気づくことを改めて実感いたします。

さて先週11日(木)に、本校では標準学力テストを実施いたしました。(2年生と3年生、欠席した子ども達は今週中に実施します。)諫早市教育委員会が主催し、市内全小学校でこの12月中に一律に実施するもので、国語と算数の2教科で、2年生以上の子ども達が対象です。今年度4月から11月までの学習内容が出題されますので、およそ今年1年、学習したことがどれだけ定着しているかを図ることができます。このような学力テストで毎回課題として上がってくるのが「無回答」です。算数では考えを式で表せなかったり、自分の考えを説明できなかったり、国語では条件のもとに自分の考えをまとめることができなかったりが見られます。問題文や問いの文を順序良く読み取る力や問いと問いを繋げて読んでいく力が弱いために何を書けばよいかを理解できないのです。また粘り強く取り組む力そのものが不足している面も感じられます。

昨年度に引き続き今年度も職員研修では、本校の子ども達の課題を、また学力の向上につなげるためには「書く力」を高めることと捉え、お互いの授業実践を見合うことを通して全職員で学び合っています。何のために書くのか、どう書けばよいのか、目的や方法を具体的に示し、学び合わせることで書く意識と力を高めています。

今回のテスト結果がどうか、楽しみに待ちたいと思います。結果については保護者の皆様には個票にてお知らせするとともに、3学期に再度やり直し、解き直しをさせ、確実に習得させたいと思います。

人権集会から・・・

本日、15日(月)3校時に全校一堂に会して、人権集会を行いました。各学級でテーマを決めて取り組んできたことの発表や「たずねてビンゴ」では事前に行っているメモをもとに、相手をさがし、あいさつを交わし、尋ね合うことを通してお互いを大切にすることを学び合いました。人権とは・・・生まれたときから持っている、誰にも奪われない、大切な権利です。しかし、日常生活の中では、分かっているのに言葉や暴力で人の心を傷つけてしまうことがあります。どの学級にも、誰にも起こりうることです。それを一人ひとりがもう一度意識できるようにする、意識して今日から取り組むようにすることがこの集会の目的です。子ども達に大切にしたいことを3点話しました。

一つ目は、「**違い**」は「**間違い**」**ではない**ということ。A君は、おっちょこちょいなところがありました。それは周りの人と少し違うところなのかもしれません。でもそれが、A君は間違いな人間・・・ということになりますか？だれにも得意なこと、苦手なこと、好きなこと、嫌いなことがあります。それは間違いではなく個性です。それぞれに個性があるから、お互いを補い合い、学校生活がおもしろく、豊かになるのです。二つ目は、**相手の気持ちを想像する力**です。シンプルに考えてください。自分がされて嫌な事は相手も嫌なのです。自分がされて嬉しいことが相手も嬉しいのです。もしも自分だったらと考える力です。もし、自分が失敗した時に笑われたら、どんな気持ちになるかな？もし、自分の机に嫌な言葉が書かれていたら、学校に来たくないだろうな？もし、自分が一人ぼっちだったら、どんな言葉をかけてほしいかな？人権を守る第一歩は、相手の立場になって考えることです。とてもシンプルなルールです。三つ目は、**小さな勇気をもって行動する**ということ。いけないこととわかっているのに、友達がするから、いっしょにしてしまう。嫌なことを言われているのを見たとき、自分が後で何か言われるのがこわいから、見て見ぬふりをする。それはとても簡単です。でも、その「見て見ぬふり」が、問題をどんどん大きくしてしまうのです。「それは違うよ」「やめろ」と言う小さな勇気を持てば、もうそれは大きな力になっていきます。自分たちで人権を、人を大切に作る学校をつくっていきましょう！

